

報道関係各位

2024年7月24日
株式会社クロス・マーケティング

今年の暑さ「夜の寝苦しさ」「照り返し」「汗」が不快に 水筒やペットボトルを持ち歩いて水分補給

－夏の暑さに関する調査（2024年）－

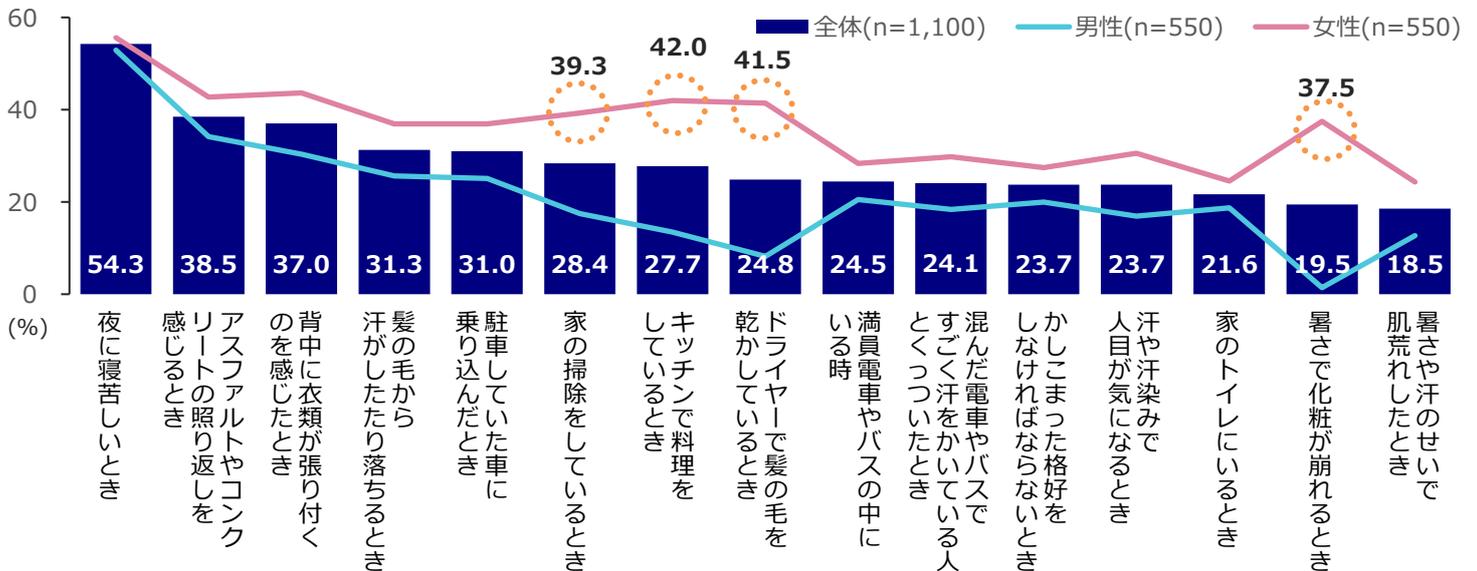
株式会社クロス・マーケティング（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：五十嵐 幹）は、全国20歳～69歳の男女を対象に「夏の暑さに関する調査（2024年）」を実施しました。午前中から35℃以上を観測するなど、全国的に多くの地域で熱中症警戒アラートが発令される中、普段どのような暑さ対策をしているのでしょうか。今回は、暑さのせいで大変だ・不快だと感じるシーンや、自宅での対策、外出時に使っているもの、暑い時に飲みたいものなどについて聴取しました。

◆調査結果の続きはこちらへ ⇒ <https://www.cross-m.co.jp/report/life/20240724summer/>

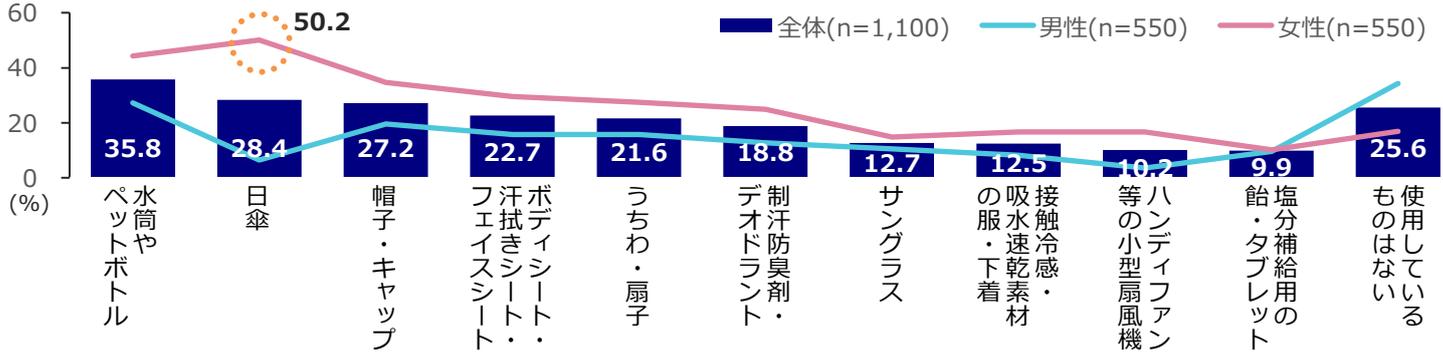
■調査結果

- ✓ 暑さのせいで大変・不快と感じるシーンは「夜に寝苦しいとき」が54.3%でトップ。次いで「アスファルトやコンクリートの照り返しを感じる時」「背中に衣類が張り付くのを感じたとき」があがる。いずれのシーンも全体的に女性の割合が高く、特に家事・身支度に関連するシーンは4割前後と男性より高い。〈図1〉
- ✓ 外出時に暑さ対策で使用しているツール・グッズは、「水筒やペットボトル」「日傘」「帽子・キャップ」が上位3位。女性のほうがツール・グッズの使用率が高く、「日傘」が「水筒やペットボトル」より上回る点が特徴的。〈図2〉
- ✓ 自宅での暑さ対策は「寝ている間もエアコンをつける」が4割超で最多。次いで「エアコンと扇風機を同時につける」「部屋の湿度を下げる」と、エアコン・家電を使用するの対策が上位に。年代別でみると、60代の高齢層で何かしらの対策を実施している人が多い。〈図3〉
- ✓ クールダウンしたい時に飲みたくなるものTOP3は「冷たいお茶」「水」「アイスコーヒー」。男性50代・60代は「ビール」が3割前後と高い。〈図4〉
- ✓ 夏の暑い時期に逆に「冷える」と感じるシーンは、オフィスやスーパー、交通機関等でエアコンが効き過ぎることがあげられ、エアコンの直風で冷えないよう汗をこまめに拭いたり、羽織物を常備したりするなどの対策をしている様子。〈図5〉

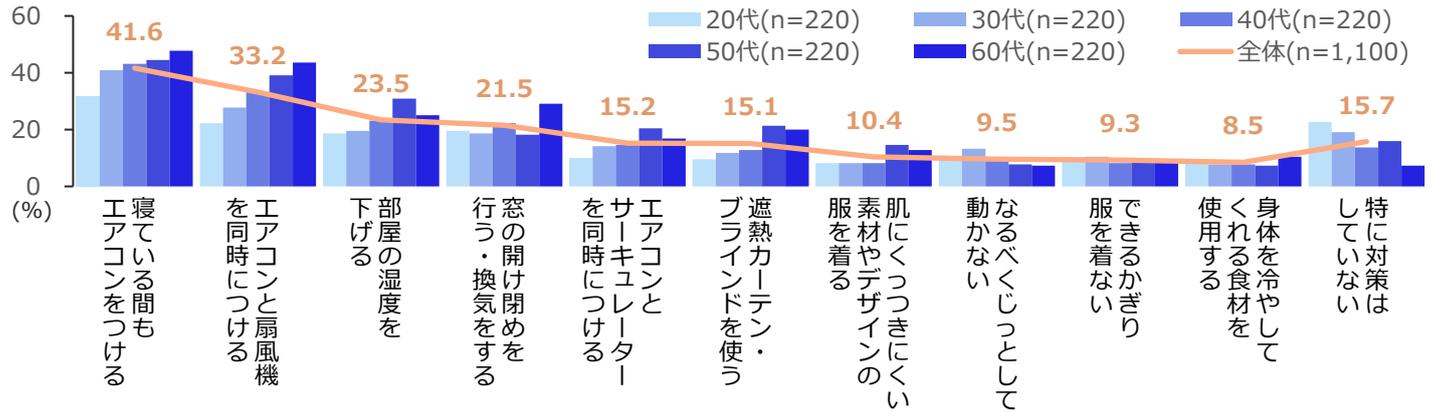
〈図1〉「暑さのせいで大変だ・不快だ」という気持ちになるシーン TOP15（複数回答）



<図2> 夏の暑さ対策として、外出時に使用しているツール・グッズ TOP10 (複数回答)



<図3> 今年の夏の暑さに対する、自宅での対策 (予定も含む) TOP10 (複数回答)



<図4> 暑い時・クールダウンしたい時に飲みたくなる飲み物 TOP10 (複数回答: n=1,100)



<図5> 夏の暑い時期に逆に「冷える」と感じるシーン・その対策 (自由回答抜粋)

- ・冷房が効きすぎた車両に長時間乗っている時。羽織るものを持ち歩くようにしている (女性20代)
- ・会社の空調が効きすぎのため温かい飲み物飲む (女性40代)
- ・電車や車は冷えるため、スカーフを巻いたりアームカバーを装着している (女性60代)
- ・寒くなる前に、しっかりと汗をタオルで拭く (男性20代)

■ 調査項目

- 属性設問
- 今年の夏の暑さに対する、自宅での対策
- 暑さのせいで「大変だ・不快だ」という気持ちになるシーン
- 暑い時・クールダウンしたい時に飲みたくなる飲み物
- 夏の暑さ対策で外出時に使用しているツール・グッズ
- 夏の暑い時期に逆に「冷える」と感じるシーン・その対策

◆クロス集計表のダウンロードはこちらへ ⇒ <https://www.cross-m.co.jp/report/life/20240724summer/>

■ 調査概要

調査手法 : インターネットリサーチ (クロス・マーケティング セルフ型アンケートツール「QiQUMO」使用)
 調査地域 : 全国47都道府県 調査期間 : 2024年7月19日 (金) ~ 7月21日 (日)
 調査対象 : 20~69歳の男女 有効回答数 : 本調査1,100サンプル ※調査結果は、端数処理のため構成比が100%にならない場合があります

【会社概要】

会社名 : 株式会社クロス・マーケティング <https://www.cross-m.co.jp/>
 所在地 : 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー24F
 設立 : 2003年4月1日
 代表者 : 代表取締役社長兼CEO 五十嵐 幹
 事業内容 : マーケティングリサーチ事業、マーケティング・リサーチに関わるコンサルティング

◆本件に関する報道関係からのお問い合わせ先◆

広報担当 : マーケティング部 TEL : 03-6859-1192 FAX : 03-6859-2275
 E-mail : pr-cm@cross-m.co.jp

「引用・転載時のクレジット表記のお願い」

本リリースの引用・転載時には、必ず当社クレジットを明記いただけますようお願い申し上げます。

<例> 「マーケティング・リサーチ会社のクロス・マーケティングが実施した調査によると・・・」